

編+はじめに	頁	章	頁	節	頁	細目	頁	細々目	頁
総説	1					本書の構成	3		
						対象範囲		3	
						人口の動態	8	主な内容	5
								市域人口の拡大	8
								人口構成の変化	11
								流動人口の増大	20
						都市化	24		
								市街地の拡大	24
								土地利用の変化	29
第一編 市政の展開	35								
		第一章 加藤市政の開始	37						
				第一節 加藤市長の登場	37				
						1 故伊藤泰吉市長の葬儀	37		
						2 市長選挙	38		
						3 加藤市長のプロフィール	40		
						4 加藤市長の姿勢	42		
				第二節 市議会党派の構成と動向	45				
						1 体育館建設問題と党派の動向	45		
								1 党派構成	45
								2 市民体育館建設問題	48
								3 自民党議員クラブの結成と川越市議会第一回臨時会	53
						2 昭和四十一年の市議会会議規則の改正	56		
						3 昭和四十二年四月市議会議員選挙	59		
		第二章 加藤市政と議会(I)	62						
				第一節 市政一期末における行政成果と問題点	62				
				第二節 未端行政機構の整備	69				
				第三節 相続く政治的対決	76				
						1 特別職報酬引き上げ	76		
						2 学校給食センター設立	83		
				第四節 昭和四十四年九月市長選挙	91				
		第三章 加藤市政と議会(II)	94						
				第一節 市政二期末における行政成果と新しい行政需要	94				
				第二節 公害行政の進展	98				
				第三節 市民運動の登場(付石油ターミナル基地問題)	107				
				第四節 「市長を囲む座談会」	116				
				第五節 新市庁舎建設位置問題と五十周年記念事業	119				
				第六節 昭和四十六年の市議会議員選挙	125				
				第七節 空転する市議会	128				
		第四章 川越市都市計画	132						
				第一節 都市計画の変遷	132				
						1 昭和三十五年の「川越都市計画立案報告書」	132		
						2 昭和四十四年の「川越都市計画案」	133		
						3 昭和四十七年の「川越総合振興計画基本構想」	135		
				第二節 都市計画と川越市の首都圏における位置	140				
		第五章 昭和四十八年の市長選挙	148						
		第六章 労働運動	158						
				第一節 安定した成長	158				
				第二節 春闘共闘の発展	160				
				第三節 秋闘、政治的・社会的活動	170				
				第四節 対市交渉、市長選挙	174				
第二編 市民生活	181								
		第一章 工業	183						
				第一節 埼玉県における川越市工業の地位	183				
				第二節 市の工業構成	187				
						1 業種別構成	187		
						2 業種の特徴	190		
						3 工場分布状況	192		
						4 川越市工業の実状	196		
		第二章 商業	208						
				第一節 川越市の商業環境	208				
						1 商業環境の変化と課題	208		
						2 商業統計にみられる推移	214		
				第二節 川越市の商圏	217				
				第三節 中心商店街とその移動	225				
						1 中心商店街の移動	225		
						2 一番街商店街	227		
						3 銀座商店街	229		
						4 新富町及び川越南部商栄会	232		
				第四節 大型店の動向	234				
						1 埼玉県の動向	234		
						2 川越市の大型店	238		
		第三章 財政	244						
				第一節 川越市財政の概観—財政の膨張	244				
				第二節 伊藤市政時代における川越市財政の特徴	246				
						1 新地方自治法施行と川越市財政	247		
						2 いわゆる赤字問題について	254		
						3 開発行政と川越市財政	259		

編+はじめに	頁	章	頁	節	頁	細目	頁	細々目	頁
						4 開発協会と川越市財政	263		
						5 川越市財政と特別会計	266		
				第三節	加藤市政と川越市財政	271			
						1 財政方針	271		
						2 財政規模の膨張	273		
						3 個別的考察	275		
								1 税収構造	276
								2 自治体のエンゲル係数	277
								3 公債	280
								4 地方交付税	284
								5 補助金等	286
								6 積立金	290
		第四章	社会的諸施設の整備	292					
				第一節	都市化に対応する行政	292			
						1 消防	292		
						2 社会福祉	298		
						3 街路	302		
						4 都市の開発及び再開発	308		
						5 上下水道	313		
						6 生活環境の整備	323		
				第二節	市行政機関の整備	327			
						1 市庁舎の建設	327		
						2 行政職員団の変化	330		
						3 計画行政	334		
		第五章	生活環境	336					
				第一節	経済的変貌と市民生活の変化	336			
						1 市民の所得階層動向と被生活保護層	336		
						2 人口高齢化と高齢者層の生活問題	342		
				第二節	社会福祉行政の現況	349			
						1 社会福祉施設の現況	349		
						2 社会福祉財政の推移	351		
				第三節	「請願」「決議」にみる福祉ニーズと行政対応	352			
				第四節	経済的変貌と「公害」問題	356			
						1 都市化と交通に伴う問題	356		
						2 工業化と企業公害問題	359		
				第五節	市民医療と医療施設	362			
						1 市民医療と国民健康保険制度	362		
						2 保健医療施設問題	367		
		第六章	教育	372					
				第一節	終戦と教育改革	372			
						1 教育勅語と教育改革	372		
						2 学校給食	376		
						3 ワークショップ	378		
						4 新教育制度の発足	379		
				第二節	教育状況の変化	383			
						1 児童・生徒数の推移	383		
						2 教育施設の整備	386		
						3 PTA	391		
				第三節	社会教育施設と文化財保護	395			
						1 公民館	395		
						2 図書館	397		
						3 文化財保護	399		
				第四節	特殊教育	399			